

令和8年度 伊保小学校 特色ある学校づくり推進事業 計画書

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	伝統ある伊保の文化を継承し、未来につながる学校づくり	分野	b	地域連携
	サブテーマ 地域の教育力を活かし、学んだことを生活に活かせる子をめざして	その他		
学校づくりの視点（ねら）	・歴史ある伊保地区の伝統的な文化の体験や地域の専門性の高い教育力を学校教育に生かす。 「伝統芸能の継承」「地域講師による地域学習」「野菜名人と作る野菜と食育」「持続可能な地域社会」「生き方を考える」等の活動に関わる講師報償費、伝統芸能備品、活動を行う材料費を本事業で賄っている。 ・校内整備員の協力を得て、校内の備品、設備等の点検、修繕活動や校地内の整備を行い、子どもたちが安全に活動できる校内の環境を整える。			
活動内容・計画	(1) 「総合的な学習の時間」で、地域に伝わる伝統芸能（木遣り・祭囃子・御殿万歳・棒の手）の学習を行う。 ・・・年4回の学習を行う。 (2) 「総合的な学習の時間」・「生活科の学習」で、地域講師の力を借りて、米作りや野菜作りを行う。 ・・・5年生による田植えや稲刈り。1・2年生による野菜作り。 (3) 作った野菜等を使って、学校栄養教諭の食に関する指導を実施し、食育教育を行う。 (4) 地元の里山を守る会や農地環境保全会の協力を得ながら、伊保の自然の中で様々な体験活動を行う。 その活動を通して、自然を守っていこうとする人々の活動を知り、今後も一緒に守っていこうとする意欲を育てる。 ・・・3年生 総合的な学習の時間「唐池付近の里山探検」、2年生 生活科「伊保川の生き物調査」 (5) SDGsの考え方を学び、持続可能な地域社会について自分たちにできることを考える。 ・・・4年生 総合的な学習の時間「考えよう みんなの未来のこと」 (6) 自分と他者、社会との関わりについて考え、自分の将来や生き方について考える。 ・・・5年生 総合的な学習の時間「見つめよう つながろう 感じよう 福祉の心」、6年生 総合的な学習の時間「夢を描いて歩いていこう」などの授業 (7) 地域の教育機関の専門性を生かし、児童の健やかな生活環境をつくる。。 ・・・地域で学ぶ大学生を学生ボランティアとして招いて授業のサポートを行い、児童の健やかな成長と学びの環境をつくる。 (8) 特色ある学校づくり推進事業の概要と結果を学校だより、HPなどで保護者・地域に発信する。			
補助員配置	校内整備員 年間256時間			
実績・期待される効果	(1) 地域に伝わる伝統芸能（木遣り・祭囃子・御殿万歳・棒の手）を学び、伝統芸能講師との交流を通して、郷土を大切に思う態度や心を養うことができる。 (2) 野菜名人に野菜の育て方を教えていただきながら育てることで、農家の方々の苦労や収穫の喜びを体験することができる。また、収穫した野菜等を使って食に関する指導を行うことで、家庭でのよりよい食生活につなげることができる。 (3) 地域の団体と一緒に地域の自然や文化、福祉の体験を通して学ぶことにより、地域に愛着をもち、守り育て、貢献していこうとする意欲が育つとともに、講師の方々との交流を深めることができる。 (4) 健康をはじめ、SDGsについて学ぶことで、児童一人一人が持続可能な地域社会への意識を高め、健康で過ごし、今ある地域文化を次世代につなごうとする態度を育成することができる。			
検証方法	(1) 学校自己評価、保護者アンケートの結果や記述などから効果や改善点を把握する。 (2) 授業や発表会での児童の取組や感想から、児童の満足度や達成感を検証する。 (3) 学校運営協議会や地域学校共働本部の活動を通して、学校アドバイザーを中心に地域の方からの意見を聞く。			